

平成30年度第5回滝沢市上下水道事業経営審議会会議録

I 日 時 平成31年3月19日（火）午前11時00分～午後1時20分

II 場 所 滝沢市役所防災庁舎201・202会議室

III 出席者 滝沢市上下水道事業経営審議会委員 出席8名（欠席1名）

【滝沢市上下水道事業経営審議会委員（兼 滝沢市水源保護審議会委員）】

山田 一裕 会長、及川 安 副会長、安永 正治 委員、中村 孝之 委員、
田村 武 委員、昆野 光子 委員、工藤 恒夫 委員、佐藤 定美 委員

【滝沢市】

滝沢市長 主濱 了

上下水道部（事務局） 部長 太田 城人

水道総務課 課長 阿部 一彦、総括主査 久保 雪子、
主任 櫻岡 湧土

水道整備課 課長 松本 昭彦、総括主査 角掛 雄一、
主任主査 長谷川 唯倫

下水道課 課長 三浦 信吾、総括主査 小林 純子、
主任主査 木下 智恵子

IV 次 第

1 開会

2 挨拶

太田上下水道部長より挨拶、事務局の紹介、配布資料の確認を行った。審議会条例第5条第2項の規定により、委員過半数出席のため審議会成立の旨を報告し、議事進行を事務局から山田会長へ引き継いだ。

3 議事

（1）議事録署名人の指名

山田会長より、議事録署名人に及川 安委員、工藤 恒夫委員が指名された。

（2）会議の公開・非公開

公開とされた。盛岡広域連携ブロック検討会事務部会会員3名の傍聴者が事前入室していることを説明。一般傍聴者2名が入室。

（3）審議事項1 滝沢市水道事業中期経営計画（後期）の案について （水道資料1・2）

審議事項1について、水道資料1・2により水道総務課長から説明があり、質疑応答が行われた。

【工藤委員】料金改定時期ははっきり決まっていないということだが、住民にわかりやすく今後事前説明していくか、広報などで出来るだけわかりやすく、難しいことは除いて、ということが必要になると思う。

【山田会長】この後審議する答申案にも関連するところなので、まずは水道資料1の中で3つの案が示されている、9・10ページにあたる部分の①～③案について、①案は総括原価で導いた端数処理の程度で収めている提案で、②、③についてはさらに緩和措置を施すとどうなるか、という案になる。この審議会としては、①案で了承いただけるようであればそのように進めたいところだが、ご意見を伺いたい。

【及川委員】事務局①案について問題ないと考える。使用水量の少ない人に対する緩和措置については、見方によっては福祉的要素の考え方も入ってくるが、水道については企業ということである程度割り切りも必要。福祉的な要素を薄めていく傾向で良いと思う。

【山田会長】水道利用者に公平に負担してもらおうという考え方で水道事業としては経営していかなければならないことから、利用者にはご理解いただく方向で今後進めていかなければならないと考える。他に意見等無ければ、事務局提案のとおり了承したいと思うが、いかがか。

【委員一同】異議なし。

(4) 審議事項2 答申案について

(水道資料3)

資料の内容について水道総務課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【山田会長】字句について、4ページ6行目「リーダーと意欲のある人材」を「リーダーシップと意欲のある人材」に修正されたい。

【水道総務課長】修正する。

【山田会長】5ページ6行目の②について、資産維持率2.0%を具体的数値で記載することに支障あるか。

【委員一同】特に支障なし。

【山田会長】工藤委員から指摘があったとおり、今回の料金改定で負担感が多少なりとも出てくるので、そこに対して丁寧な説明が出来るような広報をしっかりとやるということについても明記されているため、問題ないかと思われる。その他質疑ないようであれば、委員の皆様からの意見を元に事務局にて修正し、午後1時より審議再開、最終案を確認の上、市長へ答申としたい。

【委員一同】異議なし。

午後の審議再開後、字句修正後の最終答申案について確認し、異議なしとなった。

審議終了

4 答申書受け渡し

同会議室内にて、山田会長より市長へ答申書の読み上げ、受け渡しが行われた。答申書を受け、市長より挨拶。

5 閉会

上下水道部長より挨拶。